



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年8月4日

上場会社名 ユニフォームネクスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3566 URL https://uniformnext.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横井 康孝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 早川 光人 TEL 0776 (27) 4246
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	1,730	—	166	—	161	—	105	—
28年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	109.55	—
28年12月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成28年12月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、平成28年12月期第2四半期の数値及び平成29年12月期第2四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 当社は、平成29年3月24日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は平成29年6月30日現在において非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
29年12月期第2四半期	1,661		949		57.1	
28年12月期	1,482		806		54.4	

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 949百万円 28年12月期 806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、平成29年3月24日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。平成28年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成29年12月期の業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,386	15.4	325	3.8	325	3.5	201	△8.0	186.66

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 平成29年12月期（予想）の「1株当たり当期純利益」につきましては、公募株式数（200,000株）を含めた期中平均株式数により算定しております。
 3. 当社は、平成29年3月24日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	1,008,581株	28年12月期	934,800株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	－株	28年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	961,704株	28年12月期2Q	－株

（注）当社は、第2四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成28年12月期第2四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国経済の堅調な拡大及び中国経済の緩やかな回復等を背景に、国内企業業績、雇用環境が引き続き堅調に推移いたしました。

かかる状況の下、当社は、カタログ配布等による積極的な広告を展開し顧客訪問数の増加を図る一方、自社サイトへのリソース集中を目的として、モール店舗の整理をすすめました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,730,514千円、営業利益166,116千円、経常利益161,141千円、四半期純利益105,357千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,495,259千円となり、前事業年度末に比べ178,822千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が100,901千円増加し、受取手形及び売掛金が39,646千円、商品が37,390千円増加したことによるものであります。固定資産は165,742千円となり、前事業年度末に比べ151千円増加いたしました。

この結果、資産合計は、1,661,002千円となり、前事業年度末に比べ178,974千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は692,968千円となり、前事業年度末に比べ88,820千円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が82,472千円増加したことによるものであります。固定負債は18,783千円となり、前事業年度末に比べ52,507千円減少いたしました。これは主に転換社債型新株予約権付社債が56,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、711,751千円となり、前事業年度末に比べ36,313千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は949,250千円となり、前事業年度末に比べ142,660千円増加いたしました。これは主に第1回転換社債型新株予約権付社債の権利行使に伴う株式の発行により、資本金27,999千円、資本剰余金27,999千円の増加と、四半期純利益105,357千円及び剰余金の配当18,696千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は57.1%（前事業年度末は54.4%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,107,496千円となり、前事業年度末に比べ、100,901千円増加いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、126,776千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益161,141千円、仕入債務の増加54,595千円と、売上債権の増加39,646千円、たな卸資産の増加36,169千円、法人税等の支払額45,374千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、7,179千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,222千円、無形固定資産の取得による支出4,449千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、18,696千円となりました。これは、配当金の支払額18,696千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年7月19日公表の通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,006,594	1,107,496
受取手形及び売掛金	131,914	171,561
商品	158,627	196,018
貯蔵品	1,518	297
その他	17,832	20,041
貸倒引当金	△52	△155
流動資産合計	1,316,436	1,495,259
固定資産		
有形固定資産	90,073	88,210
無形固定資産	24,283	25,726
投資その他の資産	51,234	51,805
固定資産合計	165,591	165,742
資産合計	1,482,027	1,661,002
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	114,294	196,766
電子記録債務	282,351	254,473
未払法人税等	45,600	57,518
賞与引当金	30,888	33,183
その他	131,014	151,026
流動負債合計	604,148	692,968
固定負債		
社債	56,000	—
退職給付引当金	10,245	12,604
ポイント引当金	5,045	6,179
固定負債合計	71,290	18,783
負債合計	675,438	711,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,920	75,919
資本剰余金	52,188	80,188
利益剰余金	706,480	793,141
株主資本合計	806,589	949,250
純資産合計	806,589	949,250
負債純資産合計	1,482,027	1,661,002

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,730,514
売上原価	1,064,143
売上総利益	666,371
販売費及び一般管理費	500,255
営業利益	166,116
営業外収益	
受取利息	2
商品券受贈益	470
その他	180
営業外収益合計	653
営業外費用	
社債利息	205
株式交付費	2,282
上場関連費用	3,132
その他	7
営業外費用合計	5,628
経常利益	161,141
税引前四半期純利益	161,141
法人税、住民税及び事業税	57,293
法人税等調整額	△1,508
法人税等合計	55,784
四半期純利益	105,357

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	161,141
減価償却費	8,345
貸倒引当金の増減額(△は減少)	103
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,295
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,359
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,134
受取利息及び受取配当金	△3
社債利息	205
売上債権の増減額(△は増加)	△39,646
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,169
仕入債務の増減額(△は減少)	54,595
その他	17,994
小計	172,353
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△205
法人税等の支払額	△45,374
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,776
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,222
無形固定資産の取得による支出	△4,449
その他	492
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,179
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△18,696
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,696
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	100,901
現金及び現金同等物の期首残高	1,006,594
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,107,496

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間において、第1回転換社債型新株予約権付社債について、権利行使による新株への転換が行われ、資本金及び資本剰余金がそれぞれ27,999千円増加いたしました。

これにより、当第2四半期会計期間末の資本金及び資本剰余金の残高は、それぞれ75,919千円、80,188千円となりました。

(セグメント情報等)

当社は、ユニフォーム販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(公募による新株式の発行)

当社は、平成29年6月13日及び平成29年6月27日開催の取締役会において、公募による新株式の発行を決議し、平成29年7月18日に払込が完了しております。その概要は次のとおりであります。

(1) 募集方法：一般募集（ブックビルディング方式による募集）

(2) 発行する株式の種類及び数：普通株式200,000株

(3) 発行価格：1株につき2,800円

(4) 発行価格の総額：560,000,000円

(5) 引受価額：1株につき2,576円

(6) 引受価額の総額：515,200,000円

(7) 資本組入額：1株につき1,288円

(8) 資本組入額の総額：257,600,000円

(9) 払込期日：平成29年7月18日

(10) 資金の用途

①当社及び当社運営サイトの認知度の向上及び顧客基盤の拡大のための広告宣伝費

②新規顧客の定着化及び既存顧客による継続利用促進のための接客品質の維持・向上、運営サイトのユーザビリティの改善に対応するための人件費